

# みくびだより



## 御挨拶

拝啓 皆様にかかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

去る十一月十五日、三笠宮妃百合子殿下が皇室最高齢となる一〇一の齢にてご薨去されました事は、誠に痛ましき知らせでございました。ここに謹んで哀悼の意を表しあげます。

妃殿下は天皇陛下の大叔母にあたり、昭和二十三年に恩賜財団母子愛育会の総裁となられてより、凡そ六十二年間の長きに亘り、母子保健の向上に取り組まれて来られました。今はただ、幽界に鎮まりましてのご冥福をお祈り申し上げるばかりでございます。

さて、本年十月十四日、天皇皇后両陛下に於かせられましたは、岐阜県開催の「清流の国ぎふ文化祭」へ、また秋篠宮佳子内親王殿下に於かれましても、十月十七日と十八日に多治見市へご訪問遊ばされました。このように、岐阜県で両陛下をはじめ、皇室の方々をお迎え出来ます事は非常に喜ばしい限りでございます。今後の皇室の益々の弥栄をご祈念申し上げます。

また、第六十三回神宮式年遷宮の今後の予定につきまして、来年の六月頃に「御杣始祭」が斎行され、その後「御樋代木御奉曳」が行なわれ、先の遷宮同様に、当社の直ぐ南の国道二十一号線を南宮大社へ向けにお通りになられると聞いております。

遷宮の諸行事につきまして、日時など詳細が分かり次第、社報にてご案内致します。

当社では新年を清々しく迎えられますように、万全の正月準備を進めております。皆様方には御首の大神様の御神徳を拝受なされ、愈々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

## 祭事報告

### ▼西宮神社例祭

七月十七日

伊弉諾尊・伊弉冉尊の最初の御子であり、福の神として知られる蛭子命（エビス様）をお祀りし、本殿の西側の相殿に御鎮座しております西宮神社の例祭をお仕え致しました。

### ▼末廣稻荷神社例祭

八月四日

五穀豊穰・商売繁盛の神、京都の伏見稻荷大社より御分霊を賜り、当社境内東側に御鎮座しております末廣稻荷神社の例祭を滞りなく斎行致しました。



本年も氏子地域の子供たちによる奉納行灯が参道に掲げられ、

行灯を見に来た子供たちの楽しい声や、例祭当日に華やかさと賑やかさを与えてくれました。

### ▼夏越大祓

八月四日



夏の盛りのこの時期に、疫病避けと同時に、知らず知らず受け犯した罪穢れを人形（ひとがた）に託し、忌火にて焼き上げる夏越大祓神事を執り行い、神事終了後には茅の輪くぐりが行なわれ、ご参列の皆さまは、心身を清め厄災を祓い、無病息災を願われておりました。

### ▼神明神社例祭

十月十七日

伊勢の神宮（内宮）に座します天照大御神をお祀りする神明神社の例祭をお仕え致しました。

### ▼崇敬会大祭

十一月三日

大祭前日は生憎の天気でしたが、当日は正に秋晴れの清々しい一日となりました。崇敬会会員の皆様のお心がけが御首の大神様へ届いた頭れかと思えます。コロナ前に比べると、参列者は少なくなりましたが、遠近より会員の皆様にご参列賜り、恙無く斎行致しました。



### ▼新嘗祭

十一月二十三日



春の祈年祭で今年の豊作を祈願し、新嘗祭でその収穫に感謝申し上げ、新穀を神様に召し上がって頂きます。新嘗祭は三大祭と呼ばれる神事の一つで、重要な神事として古来より伝わっております。

当社でも、境内の御神饌田にて収穫した初穂を神さまに御供え致し、豊穰への感謝と、皇室の安寧及び国家の安泰を祈願申し上げます。

尚、ご神前に供えられた初穂は、後に一粒一粒取り分けまして、ご祈祷のお下がりとしてお頒ち致します。

## 祭事報告

▼七五三参り

十一月中



平安時代より行われてきた、三歳男女の「髪置きの儀」・五歳男児の「袴着の儀」七歳女児の「帯解きの儀」に由来する七五三参りですが、近年では男女共に三歳・五歳・七歳でのお参りも増えております。

十月に入ると晴着やお洒落な洋服に着飾ったお子様を連れられたご家族の姿をお見かけするようになり、十一月の土・日・祝日などには、多くの七五三参りのご家族で賑わいました。

毎年のことですが、

この七五三参りの楽しい御家族の様子や、写真にすました笑顔で収まるお子様達をお迎えするのは、非常に喜ばしい限りでございます。

## 諸祭典(抜粋)

▼長寿祈願祭 九月十五日

▼月次祭 毎月一日・二十日  
右、滞りなく斎行致しました。

## ご奉納頂きました

▽海津市の中村とみ子様より、本年もご寄付を賜りまして、水舎の柄杓を十本新調させて頂きました。



来年のお正月より新しい柄杓

を設置致しますので、初詣の際は、新しい柄杓にて手水を行われまして、心身共に清々しくご参拝下さい。

この場をお借り致しまして、厚く御礼申し上げます。

▽崇敬会より、以下ご奉納頂きました。

一、神前特大幟二対



一、末廣稻荷神社幟二対



以上、ご奉納ありがとうございました。

## 神職への質問Q&amp;A

**問** 御首神社では境内に複数のお社がありますが、お参りする順番は決まっていますか？

また、ご本殿だけ、又はお願い事の有る神様のお社にだけのお参りは失礼に当たりますか？

**答** 当社では順路の定めはございませんので、お好きにご参拝下さい。また、ご本殿やお願いが有る神社だけの参拝に付きましては、特に失礼に当たるという事はございません。

ただし、神社によっては順路が定められている場合がありますので、お参りされる神社の神主さんなどにお尋ねの上でお参り頂くと良いかと思えます。

また、多くは主となる神社の境内に境内社がお祀りされておりますので、境内社だけへのお参りの予定でも、主の御祭神へのご挨拶を兼ねてご本殿へお参りされますと、より丁寧な参拝となるのではないかと思います。

## 『様々な神社名』

皆様はこれまで、数多くの神社へ参拝され、その中で神社ごとに神社名が様々（○○神社や○○大社・○○神宮など）であることにお気付きの事でしょう。神社や大社などの部分を「社号（しゃごう）」と言い、数種類あります。「神宮」や「宮」・「大社」・「大神宮」・「社」・「神社」等が一般的な社号です。今回は、各社号にどのような違いが有るのかを簡単にご説明いたします。

単に「神宮」と言うと、実は「伊勢神宮」のみを指します。そして「○○神宮」と社号が与えられている神社は、主に皇祖や天皇をお祀りしている神社となります。例えばニニギの命をお祀りする霧島神宮、桓武天皇をお祀りする平安神宮や明治天皇をお祀りする明治神宮などがあります。

次に「○○宮」と社号が与えられている神社ですが、こちらは主に天皇や皇族をお祀りして

いる神社に多く見られます。例えば、応神天皇をお祀りする宇佐をはじめとした全国の八幡宮などがあります。

但しこの「○○宮」は、歴史的な重要人物をお祀りする神社にも与えられていることが有り、徳川家康をお祀りする東照宮や菅原道真をお祀りする天満宮などが代表的です。

そして「○○大社」の社号についてですが「大社」と言う社号は本来「出雲大社」にのみ与えられておりました。しかし、戦後の社格の廃止により、旧官国幣社（平安時代に纏められた延喜式の神名帳に記載が有り、昔より重要視されてきた神社）の中で「大社」の社号を用いる神社が多く増えたと言われております。例えば南宮大社や多賀大社などがあります。

次に「○○大神宮」ですが、元々は伊勢の「神宮」の分社の意味で全国的に多く用いられていたと聞きます。その昔はお伊勢参りをしたくとも中々行けない方が多く居た為、各地に神宮

の分社「大神宮」を祀り、その神社へ参る事で擬似的にお伊勢参りをしていたとも言われております。例えば、山口大神宮や東京大神宮などで、その多くは天照大神と豊受大神をお祀りしております。

そして「○○社」・「○○神社」はその他一般の神社に用いられる社号となります。

勿論、神社の歴史的背景や規模などは様々であり、それが社号として表されている場合もございいますが、社号で優劣が付く訳では無く、神社は信仰の対象として常に等しく存在しております。各社号の由来を胸に抱き、皆様の神社参拝ライフがより豊かなものになれば幸いです。



## 崇敬会入会のご案内

本会は、「古来首より上の諸病を憂うる者此の社に願えば靈験あらたか：：」と伝わりし御首神社の御神徳に感謝し、ご家族の諸病平癒・無病息災・家内安全生業繁栄並びに子孫繁栄を願う崇敬者の会として設立されました。

入会を望まれます方は、社務所までご一報下さい。早々に案内資料をご用意させていただきます。

## 会員の特典（抜粋）

- ・ 入会報告祭の実施
- ・ 誕生特別祈禱の実施
- ・ 及び祈禱神符の授与
- ・ 主要祭典のご案内
- ・ 昇殿参拝

## 会員の種類と年会費

個人	三千円
家族	五千円
特別	一万円
法人	二万円
名誉	三万円

〈お問い合わせ先〉  
神社社務所まで

〇五八四一九一―三七〇〇

祭事案内

▼年越大祓

十二月三十日



神職全員が拝殿にて大祓詞を奏上した後、皆様が罪穢れを託されました人形（ひとがた）を忌火にてお焚き上げ致します。人形と申し込み封筒（右の写真）は社頭にご用意しておりますので、必要事項をご記入の上、申し込み封筒にお志と共に納め、社務所にお申し込み下さい。ご不明な点は社務所にてお尋ね下さい。

▼左義長

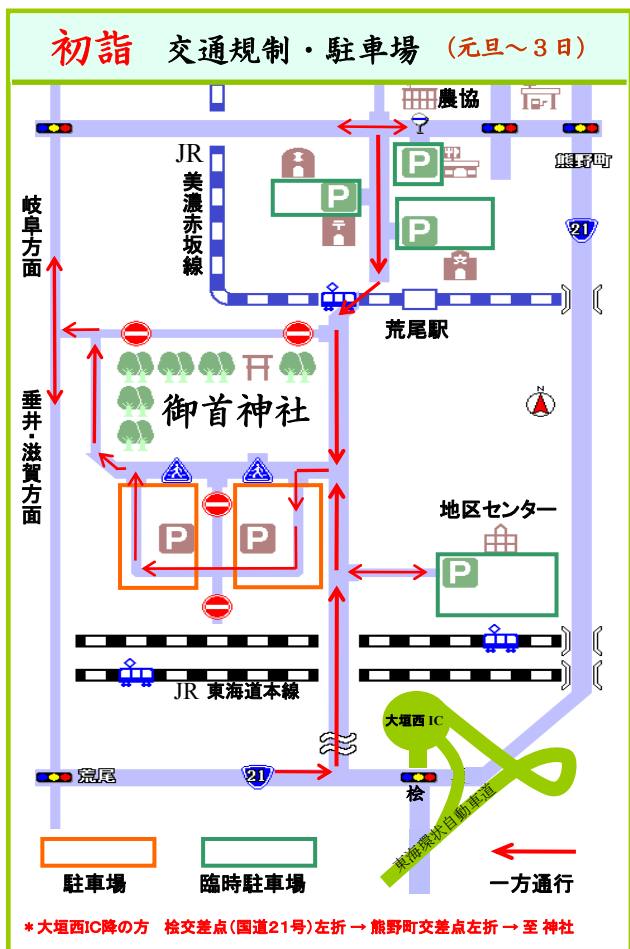
一月十五日

一年間ご守護戴きましたご神札や御守り又神棚の注連縄やお正月の注連飾りを忌み火にて焚き上げます。但し、注連縄・注連飾りのお持込みは、当日の午前中に限り受け付け致しますので、事前のお持込や、焚き上げ終了後のお持込はお断りさせて頂きます。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

▼浄火祭

二月三日

境内に作られた大きな火炉前にて斎行致します。皆様が祈願奉納されました金幣串や絵馬・帽子などをお焚き上げし、心願成就・厄祓いを願います。尚、神事終了後にご持参の帽子の焚き上げが可能となりますので、帽子をお持ちになりご参拝下さい。（焚き上げは午前中で終了します）



\*大垣西IC降の方 検交差点(国道21号)左折→熊野町交差点左折→至神社

令和7年 八方ふさがり早見表

10年生	昭和	10年生
19年生		19年生
28年生		28年生
37年生		37年生
46年生		46年生
55年生	平成	10年生
64年生		19年生
28年生		28年生

（抜粋）

八方ふさがりの皆さん

令和7年 年祝い早見表(数え歳)

古稀	70歳	昭和 31年生
喜寿	77歳	昭和 24年生
傘寿	80歳	昭和 21年生
米寿	88歳	昭和 13年生
卒寿	90歳	昭和 11年生
白寿	99歳	昭和 2年生

年祝いの皆さん

ご祈禱をお受けになり  
健康な毎日を  
過ごしましょう

新年 授与品・縁起物

大きき凡そ 25センチ！  
正月限定・三十体限定の御守です。



特大開運御守  
初穂料三〇〇〇円



祈願絵馬  
初穂料五〇〇円



さくら鈴  
初穂料五〇〇円



開運親子土鈴  
初穂料一五〇〇円

諸祭典(抜粋)

- ▼ 月次祭 毎月一日・二十日
- ▼ 元旦祭 一月一日
- ▼ 祈年祭 二月十六日
- ▼ 鉾山神社例祭 三月十七日
- ▼ 例大祭 四月二日
- ▼ 南宮神社例祭 五月四日
- ▼ お田植え祭 六月上旬
- ▼ 農休祭 六月中旬

祭事案内

令和七年 初祈禱のご案内



初祈禱は、元旦祭終了後(元旦午前零時半頃)よりお仕え致しております。

毎年、多数の皆様が我先にと御祈禱(家内安全・商売繁盛・各種受験合格・病氣平癒祈願など)をお受けになられております。輝かしい年の初めに、ご家族お揃いでお参り下さい。

正月御供 鏡餅料 受付中です

正月御供(一月初旬迄受付)

- ・御供料
- ・酒類・お餅・米・野菜・果物
- ・菓子など

鏡餅料(十二月末迄受付)



・正月三日間、鏡餅を御神前にお供えいたします。千円以上のお申込となっております。

\*お下がりが授与されます。  
\*郵送・書留等による申込受付中。  
詳細は社務所まで。

令和7年 厄年表(数え歳)

	歳	前厄	本厄	後厄
男	61歳	昭和41年生	昭和40年生	昭和39年生
	42歳	昭和60年生	昭和59年生	昭和58年生
	25歳	平成14年生	平成13年生	平成12年生

	歳	前厄	本厄	後厄
女	37歳	平成2年生	平成元年	昭和63年生
	33歳	平成6年生	平成5年生	平成4年生
	19歳	平成20年生	平成19年生	平成18年生

編集部より一言

コロナ自粛が落ち着き、日毎に以前と変わらぬ日常に戻って来る様を見るに付け、普通とは有り難い物だと感じた一年でした。

御首神社社務所

岐阜県大垣市荒尾町一二八三の一  
Eメール syamusyo@mikubi.or.jp  
TEL(〇五八四)九一―三七〇〇